

静岡県および御前崎市による津波対策工事ほか追加工事の 点検および確認について(第 63 回)

2016 年 11 月 25 日

本日(11月25日)、当社が実施している津波対策工事ほか追加工事(※1)について、御前崎市の立ち会いの下、静岡県による点検を受けましたので、お知らせします。

本日の点検において、水源の多様化(緊急時淡水貯槽の設置)および主蒸気逃がし安全弁自動減圧化ロジック改造(※2)について点検を受けました。

静岡県から、「水源の多様化(緊急時淡水貯槽の設置)および主蒸気逃がし安全弁自動減圧化ロジック改造について、中部電力の計画どおりおこなわれていることを確認した。これらは安全を確保するうえで重要な設備であるため、メンテナンスを確実に実施してほしい。」との講評をいただきました。

御前崎市から、「工事が中部電力の計画どおりおこなわれていることを確認した。今後も確実に工事を進めてほしい。」との講評をいただきました。

また、静岡県から、「次回の点検は、12月22日に実施予定である。」旨の連絡がありました。



水源の多様化(緊急時淡水貯槽の設置)
点検の様子

※1 自主的に取り組んできた重大事故対策や、2013年7月に施行された原子力規制委員会の新規規制基準を踏まえ追加した対策工事などのことです。

※2 主蒸気逃がし安全弁とは、原子炉の過度の圧力上昇を防止するために原子炉の減圧をおこなう設備です。4号機には全部で15弁あります。今回、炉心損傷を防止することを目的に15弁のうち2弁が自動で開くようにしていたロジック(論理回路)を、安全性をさらに高めるために3弁が自動で開くように改造しました。

(これまでにお知らせした内容は、[こちら](#)でご覧いただけます)

以上